建築

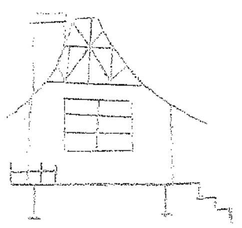
発行日 12月8日
発行者

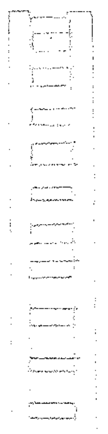
建築しやすい天候&場所

10月10日、職業インタビューがありました。そこで、有限会社アシストホームの宮寺透雄さんをお呼びして、建築について学びました。

みなさんは、有限会社アシストホームという会社を知っていますか？アシストホームとは、新築、建て替えや、地震補強工事などを行っている会社です。その会社の代表取締役の宮寺透雄さんに職業インタビューで質問をしました。私は、その中でも「建築しやすい場所や天候はありますか？」という質問が気に入りました。その場所、高低差がない場所、天候がいい場所です。材料が運びやすい場所では、速く作業を進められるようになり、高低差がない場所では歩きやすく、作業がしやすいそうです。そして天候は、雨だと足がすべりやすく、作業がしにくく、天気が良すぎるとコンクリートが早く乾きすぎて、ひびがはいってしまって、作業しにくい。なので、悪すぎず良すぎずがちょうどいいそうです。

この職業インタビューで、私は建築はすてきな職業だと改めて思いました。人の幸せという家を作るとても大変な作業をしている建築士のみなさんを、私はとても尊敬しました。みなさんは建築についてどう思っていますか？この記事を読んで建築への理解をすこしでも深め、すてきな職だと思ってくれたらとてもうれしいです。





建築士資格やれること一覧

〈一級建築士〉扱える建築に制限がなく、すべての建築物の設計、工事監督ができる。
〈二級建築士〉個人住宅程度であれば、木造、鉄筋コンクリート、鉄骨造の設計をすることができる。
〈木造建築士〉高さ13m、軒高9m以下平屋建てから3階建て、延床面積100m^2以下の規模で、建築物の計画、設計、依頼者と打ち合わせ、図面作成、建築確申請手続き、工事の設計監理、変更対応ができる

建築を学んで

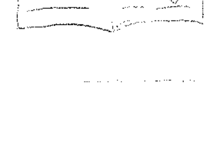
私は、天気が良ければ良いほどいいと思っていた。だが違う。という事を知った。読者の皆さんは晴天、曇り、雨、台風、の中で、何がいいと思う？考えてみよう、、、

まず、晴天、晴天だとすぐにコンクリートが固まってしまうことがあるからダメだそうだ。曇り、曇りだと見えずらくやりづらいだろう。雨、雨は危なくやることすら無理だろう。台風、台風はまずもってやらないだろう。なので私の主張は、天気が良ければ良いほどいいと言う事ではなく、そして悪ければ良いほどでもない。だから天気は晴れでも気温が少し低くそして時間の余裕があるときに、やったほうがいいと思う。

建築士バックの中 大公開

まず一つ目はiPad。何に使うかというと設計で図面を書いたりするそうです。二つ目は水平器という物でこれは水平かどうか確かめる物です。三つ目はチョークです。これは印をつける物です。四つ目は、はかりという長さを測る物です。五つ目はコンクリートなどでひび割れた所を測る定規のような物です。次にピアノ線といって、これはひび割れがある場所の穴の深さを測る物です。次は赤外線カメラといって、これはコンクリートなどの下が見えない所がどうゆうふうになっているかを確認するための物。次は棒カメラという物でこれは人が入れない所などの場所を撮影するための物です。次はレーザーと言ってこれは奥行きの長さなどを測る物です。次は名紙です。これは皆さんも分かる通り業者の方や他の会社の人に渡す物です。このようにいつものバッグにはたくさんの物が入っています。そして挙げた物以外にもたくさんあるそうです。

編集後記



〈　〉
トップ記事でも言いましたが、私はこの職業インタビューで、とても素敵な職業だと感じました。私もこんな素敵な職につきたいと思いました。

〈　〉
セカンド記事を担当しました。セカンド記事では宮寺先生がいつも使うバックの中に入っている物を基に書きました。中には名前を聞いても分からない物があり、とてもびっくりしました。

〈　〉
社説で、天気、場所が良ければ良い、でものがないことが初めて知りました。

〈　〉
清書を担当しました。私は今回のインタビューで建築はとても素敵な職業だと感じました。